「今月の主な紙面」

2　いきいき研修医紹介、生活保護シンポ
3　リハビリ部会、わんこにゃんこ、お気に入り
4　相談室、読者ひろば、パズル

愛知民医連

愛知県民主医療機関連合会
〒456－0006 名古屋市熱田区沢下町９番３号
☎ 052－883－6997 FAX 052－889－2112
発行責任者　武田　修三
URL：http：//www.aichiminiren.jp/
E-mail：aichiminiren@aichiminiren.jp
第490号

愛知民医連事務職員研修会を開催（県連事務委員会主催）

SDHから患者の困難を考える ～困難の陰にはなにが隠れているのか～

県連事務委員会は、３月15日（土）に愛知民医連事務職員研修会を金山の労働会館で開催しました。事務職員研修会は、民医連事務職員の育成、他法人との交流の目的を持っています。８回目となる今回は昨年に引き続き対面で開催し、６法人から44名の参加がありました。

県連事務委員・梶田　弘平
（名南病院医事課長）

SDHの視点をもった窓口業務のために

例年講師をお呼びし、講演を聴いた後に感想交流を中心とした研修を企画していましたが、「窓口で困難な人にどのように気づけるか」「SDHの視点を持って業務に取り組んでほしい」という思いから、今回はワークショップ形式としました。

千秋病院の服部さんからSDHのミニレクチャー

はじめに、尾張健友会千秋病院の医療相談員・服部あゆみさんより、「SDHについて～患者の社会的背景と課題について考える力を身につけよう～」という題で「SDH」についてミニレクチャーをしていただきました。

生物学的要因が健康に影響することは20～30％に過ぎず、その方が置かれている環境や社会によって健康格差が生まれ、個人に起因しない構造的な問題があることや、下流に流されてきた人を救うだけではなく上流で起きている問題にアプローチする必要性、健康格差が生まれる10の要因についてお話をしていただきました。

お話の最後には、患者側に立つこと、そして患者のニーズを知りどう伴走するかが重要だと話され、患者の意思を尊重する大事さを学ぶことができました。

SVSシートを活用してWhat・Why・Howをグループで討論

その後実際に病院であった事例を元に各グループでSVS（ソーシャルバイタルサイン）シートを活用しながら、どんな困難があるのか、どうして困難に陥ったか、その困難に対してどのようなことができるのかをディスカッションしました。

〈一つ目の症例・50代〉

フードパントリーをきっかけにつながり、お風呂に入りたいという要望から入院となりました。15歳から一人暮らしをしており、幼少期から虐待を受けていました。家族からの仕送りで生活していましたが、生活困難になり生活保護受給を開始し現在は外来で治療を続けながらSWが介入し生活の立て直しをはかっています。

〈二つ目の症例・60代〉

2017年に脳梗塞を発症し、他院より転院してきた患者さん。繰り上げ受給した年金と生活保護受給をして生活をされています。もともと職は転々としており、若い頃に離婚し子どもたちは元妻と生活していますが、子どもたちとの密な交流はありません。身の回りのことは自分でやりたいとリハビリを頑張り、退院するが数年後腰痛によって離職、アルコール飲酒量も増えていきました。支援者やヘルパーなどを活用し生活改善が図られましたが、在宅での生活困難により施設入所を承諾されるも多量飲酒や介護度が低く受け入れ先を探すのが困難な状態です。

＊　＊　＊　＊

人間関係や収入、労働環境、健康感、居住環境、本人の意思などを提示された症例から考察し、自分たちにどのようなことができるか、患者に寄り添うためには何が必要かを話し合い、患者・利用者の困っていることに気づく重要性などを学ぶことができました。

参加者の感想から

参加者からは、「支援する上で患者の立場に立って考えることを第一に考えていきたい」や「患者さんの背景や意思に耳を傾けて尊重するという視点を学ぶことができてよかった」など民医連綱領が掲げている『患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時の社会問題に取り組む』意義を感じた感想が多く出されました。

また、「多職種での関わりを大切にしたい」『患者の困難を感じ、職場内で話し合うこと大切』という一人で解決しようとせず、他職種と協同していきたいとの感想も多くありました。

常にWithの気持ちを忘れずに

事務委員長から閉会時に「今日の事例をもう一度１年後にSVSを活用してやってみてください。その時はまた違った視え方や考え方ができて、それはみなさんが成長した証になると思います。服部あゆみさんからのレクチャーの中で、患者・利用者さんにはFor（あなたのために）ではなくWith（あなたと共に）が大切だと話しがありました。ベテランの事務ほど経験値があるが故にこれが本人にとって一番良いとFORの考えで話を進めてしまいます。結果としてはそれが良い選択だとしても、本人の気持ちが置いてきぼりにされ信頼関係は築けません。患者・利用者さんがどうなりたいのか、私たちにどうしてほしいのかを常に尋ねながらWithの気持ちを忘れないでほしい」と民医連事務として大切にしてほしいことを話されました。

県連事務委員会では、患者の困難に気づき寄り添い、支援するためにもこのような研修を今後も続けていきます。

法人事業所だより

みなと

☆平和への思いを胸に代表18名が３・１ビキニデー集会に現地参加しました。☆３月９日、第30回まちづくり・健康づくりフェスタを開催。医師４名の講演・学習会、専門家提案の体験企画、小中高生も参加したステージ企画、ゲスト団体の出展等に、１８００人超の人手で賑わいました。

南

☆３月16日、健康づくりフェスティバルを開催、参加者は８００人。日本医科大学院医学研究科リハビリテーション学分野・青柳陽一郎教授が「私らしく健康で幸福な人生を送るために」のテーマで講演。地域の健康づくり大集合・体験会や健康チェック、医療介護活動紹介なども行いました。

北

☆４月１・２日入協式がおこなわれました。２０２４年度下半期と２０２５年４月採用の24名が参加しました。組合員との模擬班会で一緒なって事業を盛り立ててほしいと期待が伝えられました。

☆『保険でより良い歯科医療を求める請願署名』を各支部で取り組んでいます。

名南

☆１９６９年わずかな人数で「名南外科友の会」が発足。50年以上を経て、２０２５年３月13日「名南会健康友の会」として記録的な１万人を突破しました。

☆４月１日入社式を行い、看護師10名・リハビリ専門職13名・その他２名、合計25名の新入職員を迎えました。

尾張

☆３月13日に、３・１ビキニデー集会報告会を行い、職員、友の会員61名が参加。代表者の学びや感想を共有しました。

☆３月29日に尾張健友会予算総会を開催しました。☆４月１日に新入職員30名を迎え入社式を行い、オリエンテーションや宿泊研修で交流も深めました。

ファルマネット

☆本社事務所をかなめ店２階に移転し、現場の雰囲気をストレートにつかみながら経営に当たる新体制をスタートしました。

☆南医療生協の健康フェスティバルに大規模災害とクスリのテーマで展示ブース。近隣の高齢者施設の方から緊急時のおくすり確保に不安の声が寄せられました。

はみんぐ

☆３月27日、理事会で３・１ビキニデーの参加報告、２０２５年度予算・活動方針を議論しました。５月29日定期総会予定です。

☆昨年11月から保険でよい歯科医療を求める請願書名に取り組み、３月末で１３５２筆の到達。歯科検診先の保育園でたくさんのご協力をいただきました。

2025度 愛知民医連

いきいき研修医紹介

桜咲く４月となりました。愛知民医連は、協立総合病院に５名の研修医のみなさんをお迎えしました。協立総合病院の元気いっぱいの研修医のみなさんを紹介します。

3つの質問

①学生時代に頑張ったクラブ・サークル、または学生時代・いま熱中していること
②おもしろかった、印象に残った本（マンガも可）
③自分のモットー、または自己アピール

丸山 雅史（まるやま まさし）

高知大学卒業
協立総合病院で研修開始

①学生時代には中学から大学まで12年間バスケットボール部に所属していました。大学時代では、勉強と両立しながら練習をし、西医体（医学部の大会でベスト8に入ることができました。練習が休みの日は、友達と旅行や温泉に行き、リフレッシュしていました。
②最近読んだ漫画はキングダムという漫画です。春秋戦国時代の中国を舞台にしており、奴隷の身分から大将軍を目指す信と中華統一を目指す王が描かれている漫画です。どのように国を攻め込んだのか、戦国の武将の戦略も描かれておりおすすめです。
③自分のモットーはメリハリをつけるということです。オンとオフをしっかりして仕事もプライベートも充実させて、研修医2年間頑張っていきたいです。

梶 建也（かじ けんや）

奈良県立医科大学卒業
協立総合病院で研修開始

①大学時代は弓道部と「プレドクターズ」という医学生のサークルに所属しておりました。弓道は大学から始めたのですが、他の武道と異なり、自分自身との対話や集中力が求められる競技であり、心身ともに鍛えられたと感じています。また、プレドクターズでは、医学生同士で学習塾の運営や施設の立ち上げなど、主体的に取り組む活動を経験しました。
②好きな本は『ばくてり～擬人化細菌学～』という同人誌です。電子書籍で読みましたが、細菌の特徴を擬人化してユーモラスに、かつわかりやすく表現しており、学生時代から愛読しています。学びながら楽しめる点が非常に魅力的でした。
③将来は、確かな手技で信頼される医師を目指しています。患者さんにとって安心できる存在となるために、日々の研鑽を怠らず、基本的な手技から一つひとつ丁寧に習得してまいります。

江口 波々帆（えぐち ななほ）

名古屋市立大学卒業
協立総合病院で研修開始

①大学時代はゴルフ部に所属しておりました。部活では、先輩から受け継いだものを後輩に伝えていく、屋根瓦式の伝統を学びました。私も、次の後輩に病院のこと、医療のことを教えられるように、この1年で先輩方から多くのことを吸収して成長したいと思います。
②「僕のヒーローアカデミア」という作品です。この作品では、キャラクターがそれぞれ個性という名の特異的長所を持っています。各自の個性を組み合わせて、一丸となって大きな敵に立ち向かう姿は、医療においての多職種連携と通ずるものがあると思います。
③わたしは人とコミュニケーションを取ることが好きです。病院内では、すべての医療スタッフの方々、患者さんと積極的に関わり、皆様から親しみやすいと思ってもらえる医師を目指します。

徳永 翔宇（とくなが しょう）

愛媛大学卒業
協立総合病院で研修開始

①大学時代はバドミントン部と水泳部に所属しておりました。バドミントンではプレイヤー、水泳ではマネージャーとして部員同士助け合いながら成長することができました。また、数多くの個性豊かな仲間を得て毎日を楽しく過ごしていました。
②藤子・F・不二雄先生のドラえもんです。こどもの頃はどこでもドアやタケコプターなどのひみつ道具を見て、こんな道具もあればなーて色々空想しながら楽しんで読んでいました。大人になった今読み返しても面白い不朽の名作だと思います。
③私のモットーは人との繋がりを大切にすることです。今後も地域の皆様と多くの繋がりを作っていきたいと考えております。そのためにも皆さんに信頼される医師になれるように精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

小澤 涼（おざわ りょう）

近畿大学卒業
協立総合病院で研修開始

①私は大学生を2回経験しました。薬学部では勉強に身が入りませんでしたが、医学部では勉強にも真剣に取り組み、卒業時には成績優秀者として医学部長賞を頂くことができました。
②今ハマっている漫画はちいかわです。見た目の可愛らしさに癒されるだけでなく、どこか不器用で不安なキャラクターたちが、じっとな世界の中でも懸命に頑張る姿に心を打たれます。不完全さを抱えながらも前に進む姿に、自分を重ねて励まされることも多く、元気をもらっています。
③モットーは諦めない事です。医師になるまで遠回りをしましたが、人生をどう生きたいかを考え、努力を重ねて今の道に行きました。

最高裁勝訴に向け「生活保護シンポ」開催

いのちのとりで裁判は、貧困とのたたかいの最終防衛ライン

「最後の最後まで闘いぬきます」

これまでに原告側が25勝15敗と大きくリード

２０１３年の生活保護基準引下げ処分取り消しを求めて、全国29の都道府県で「いのちのとりで裁判」がたたかわれています。各地の裁判は、今年3月末までに40判決（地裁30、高裁10）が出され、原告側が25勝15敗（地裁19勝11敗、高裁6勝4敗）と大きくリードしています。高裁判決でも逆転勝訴が相次いでいます。

最高裁・口頭弁論が5月27日に決定、判決も間近となる見通し

愛知では原告側が高裁で勝訴し、国側が上告していました。最高裁の口頭弁論がいよいよ5月27日に行われます。最高裁の判決も近々言い渡される見通しとなりました。

最高裁勝訴に向けて１００人超す参加

最高裁勝訴への決起の場として「生活保護シンポ」が3月15日、金山・労働会館で行われました。生活保護基準引下げ反対愛知連絡会の主催です。愛知県内外の原告、支援者、弁護士らとオンライン含めて全国から１００人以上の参加がありました。

いのちのとりで裁判は最終防衛ラインを元に戻すたたかい

つくろい東京ファンド代表理事の稲葉剛さんが「広がる貧困の実態と生活保護裁判の意義」と題して講演され、「いのちのとりで裁判」は政府が勝手に引き下げた「最終防衛ライン」を元に戻すたたかいだと語り、この裁判が生活保護バッシングで生まれた誤った分断を乗り越える力になると強調されました。

いのちのとりで裁判全国アクション共同代表の尾藤廣喜弁護士が全国の裁判の現状を紹介し、最高裁に向けた課題をあげました。

稲葉　剛さん

＊生活保護の権利性を認め法の定めに忠実に判断するか、それとも政府の言いなりの判断か―争点はわかりやすく絞られた。
＊「生活保護の充実図れ」を全市民の要求にしよう。
＊地裁、高裁は圧倒的に「今回の引下げは違法」と判断している。
＊老齢加算の枠組みを採用させること。
＊デフレ調整、ゆがみ調整の違法性をさらに訴える
＊原告の生活実態、新しい貧困観をさらに強く訴える、との報告がされました。

物価偽装のからくりを暴く寸劇も披露され、全国の支援者からの報告もいただきました。

最後に原告からの挨拶があり、「物価高で本当に苦しいです、この裁判が私たちの最後の抵抗です。最後の最後までたたかい抜きます。支援ありがとうございます」と決意表明がされ、勝訴への決意を固め合いました。

尾藤共同代表

リハビリ部会がんばっています

年2回（前期・後期）の学習会で技術・知識の向上と法人間連携の強化めざす

みなと医療生活協同組合
介護老人保健施設　入所ケアサービス部門主任
理学療法士　久保田　洋介

愛知民医連リハビリテーション部会では、リハビリテーション職員の技術・知識の向上と法人間連携を強める目的で年2回の学習会（前期学習会、後期学習会）を開催しています。

前期学習会は法人紹介と若手職員が症例発表

リハビリ部会の前期学習会は、法人紹介と若手職員による症例発表を行う事が定例となっています。本年度も同様の内容で実施しました。台風の影響による日程変更もありましたが9演題の発表が行われ、他部門から31名の参加者がありました。ここ数年はコロナウイルス感染症の影響もあり、学習会や学会がオンライン開催となることが多く、参加を控える傾向もあったため久しぶりの集合研修となりました。若手職員にとっては人前で発表する貴重な経験の場であり、どの発表からもやる気と日々の頑張りが感じられる発表でした。参加者の先輩職員や他法人の若手職員からも様々な質問があり、非常に活発な会となりました。

また、各法人による法人紹介では、普段あまり接する事が無い他法人について興味深く聞き入る姿がありました。同じ民医連に所属する職員として横のつながりを感じる事が出来たのではないかと感じています。

後期学習会は専門知識、技術の向上が目的

２月には後期学習会を行っています。後期学習は職員の専門知識、技術の向上を目的に開催しています。今年度は福祉用具に関するワークショップとグループワークを実施しました。普段からお世話になっている、株式会社トーカイさん、株式会社松永製作所さんによる講演と福祉用具や車椅子の使用方法の実演と紹介をしていただきました。

福祉用具はレンタルや購入に関する制度の説明や、退院・退所支援に向けての知識・情報、生活期での援助器具として手すりや見守りセンサーの紹介などがあり、現場で活かせる福祉用具の知識を身に着けることができました。

車椅子の説明では、車椅子の仕組みやシーティングについての話がありました。病院、施設共に高齢者が車椅子に座り生活する場面は非常に多く、車椅子シーティングは各部門でも大きな検討課題となっています。今回の講習会では、シーティングの考え方や工夫を事例を通して学ぶことができ、改めてリハビリ職員として意識して取り組む必要性を感じました。

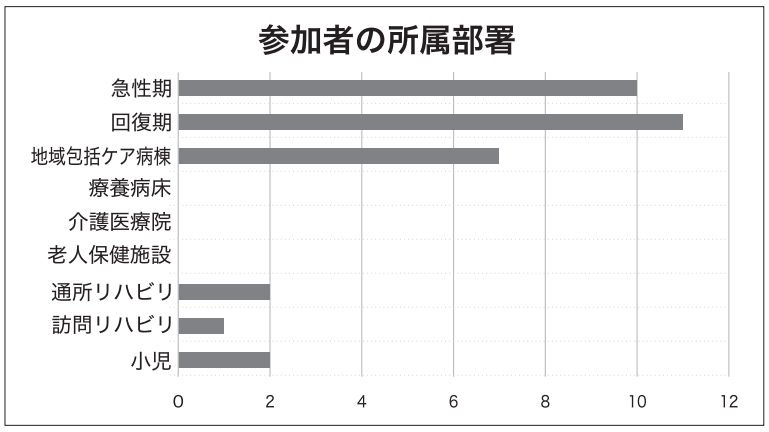
GWからの意見をもとに福祉用具業者さんに要望

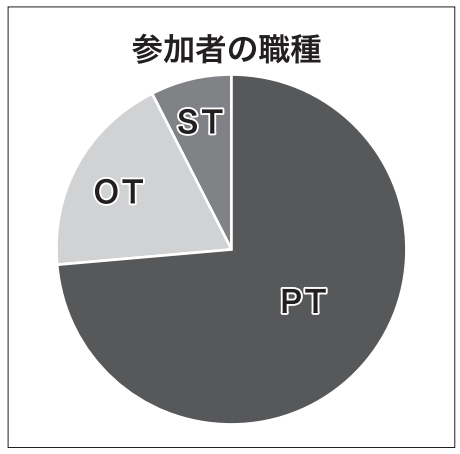
グループワークでは、「こんな福祉用具があれば役に立つ」をテーマに積極的な話し合いがされました。各グループからは以下のような意見があがり、福祉用具の業者さんに要望として伝えさせていただいています。

- **患者さんの体調に合わせて高さなどがカスタマイズできる車椅子**
- **見た目がスタイリッシュでいかにも高齢者住宅とならないような住宅改修の方法**
- **車椅子やベッドにセンサーがあり荷重部位を自動で調整して褥瘡予防をはかれるもの**
- **歩行補助具が転倒しそうになると自動でバランスの調整を行う**
- **薄くて段差にならないが緩衝作用の高いマット**
- **床から起上りを介助する移乗機器……など**

前期学習会、後期学習会後のアンケートでは次回以降の学習テーマに対する要望がたくさんあがり学習意欲の高さを感じています。

愛知県連リハビリ部会では、通例の学習会のみでなく２０２５年度は学術運動交流集会の活用や、東海北陸地協リハビリ部会でのオンラインミーティングなど様々な学習機会を検討しています。





うちのわんこ にゃんこ

さんぽとごはんが大好き

ミニチュアダックスフンドのモカ。

一緒に暮らし始めた5年前、彼女は6歳の成犬でした。その頃は歯を剥き出して本気で噛みつくような、ちょっと困った行動のある子でした。

今ではすっかり落ち着き、私の親族や友人とも大の仲良し。好きな言葉は「さんぽ」と「ごはん」。

「散歩行く？」と声を掛けると短い足で家中を駆け回り、小さな体全体で喜びを爆発させています。車でのお出掛けも大好きで、自ら外出用のケースに入り期待の眼差しで待っています。

モカ、今日はどこ行く？

協立総合病院
看護課長室
看護師　柴田（しばた）　愛（あい）

犬の名前 モカ
ミニチュア
ダックスフンド　11歳

わたしのお気に入り (14)

ディズニーシーの裏側を知るとこんなに面白い！

私のお気に入りは、東京ディズニーシーのガイドブックです。

この本は、私が「ディズニーの裏側を知るとこんなに面白いんだ」と思うようになったキッカケの風間俊介さんが特別編集しています。内容は、各エリアやアトラクションの簡単な説明から中々気づくことのできない裏設定まで、詳しく説明が書かれています。

この本を読んでから実際のパークに行くと、新しい発見や今までと違った視点で楽しむことができると思うので、ぜひ皆さんもこの本を手に取って読んでみて下さい。

総合病院南生協病院
放射線技師
磯貝　准汰

医学科に合格した方を対象に合格おめでとう会を開催しました

県連医学生委員会　西崎　剛

３月15日（土）14時から2時間半の間、名古屋市北区上飯田の北医療生協わいわいルームにて医学科合格者の「合格おめでとう会」が行われ、２名の医学科合格者が参加されました。

北病院の見学や腹部エコーを各自体験したあと、祝福に駆けつけてくれた愛知民医連奨学生や北病院の森医師も参加し、ケーキを食べながら、交流を行いました。参加学生からは「将来アメリカの医師免許も取りたい。外科系の医師になりたい」「たくさん一人旅に行ったりいろいろな活動に参加したい」と明るい抱負も聞かれ春らしい希望にあふれた企画となりました。

ご多忙のなか協力してくださった職員さん、北病院の皆さま、ありがとうございました。

相談室　連載89

その人らしく笑顔で過ごせる認知症専門棟です

当施設は一般棟60床、認知症専門棟40床の老人保健施設です。今回は認知症専門棟の事例を紹介します。

Aさん（99歳・女性）既往歴に膀胱癌・気管支喘息・認知症があります。往診や訪問介護を利用しながら、自宅で長男様と２人暮らしをしていました。歩いて自己にてトイレに行くことができましたが、トイレへ行く際に転倒し、搬送先にて左大腿骨頚部基部転子部骨折の診断を受け、保存療法となり、車椅子での生活となりました。主介護者である長男様の認知機能低下もあり、自宅での生活は困難なためキーパーソンを長女様に変更し、認知症専門棟に入所しました。

入所後、夜間のオムツ弄りやオムツ外しで尿や便まみれになり、オムツのポリマーを破り散乱し、不快感から大声で叫んだり、泣いたりする状況が毎晩続いていました。Aさんの不快を軽減するために、排泄パターンを把握し、パッド交換のタイミングを変えるなど対策を行いました。さらに、毎日面会に来る長男様がAさんを移乗しようとして床に落とす事があり、配慮が必要な状況でした。

認知症専門棟には、Aさんだけでなく、興奮して叫び続ける、帰宅願望や離設、徘徊、収集癖、支離滅裂で会話が成り立たないなど、様々な認知症の周辺症状のある利用者さんがいます。職員は、家に帰ると言って出口を探す利用者様の横を歩きながら馴染みの関係を築き、一人一人の「人となり」を知り、他職種での情報共有を欠かすことなく行っています。大変なことばかりではなく、時には重たい枕を「お米あげるわ。みんなで食べてね。」と運んできてくれるなど、ほっこりしたエピソードもたくさんあります。

『認知症はあるけれど、その人らしく笑顔で過ごすことができる』私の働く認知症専門棟はとても素敵な場所だと感じています。

名南介護老人保健施設
かたらいの里
施設ケマネジャー・
支援相談員
真柄　久美代

読者のひろば

つくしの楽しみ

千秋病院
理学療法士　西尾　悟

この時期は毎年つくしを取りに行って卵とじにして食べるのが楽しみです。

保育園の誕生日カード

北病院
管理栄養士　柴田佳代子

息子が部屋の片付けをしてた時に、保育園からいただいた誕生日カードを見つけました。「僕はいろんな人に育てられたんだ。」と言ってました。保管してよかったです。

娘が看護師を目指します

千秋病院
放射線技師　森　賢洋

娘が4月から看護師を目指し大学生になります。職場で看護師さん達を見ているだけに「がんばれ～」っと願っています。

土作り

老健かたらいの里
看護師　犬飼　広子

春から家庭菜園の時期突入ですが、今年こそは実り多い野菜達を期待しながら栄養豊富なフカフカの土目指して頑張ります!!

お花見

名南ふれあい病院
看護師　久保　里香

数年ぶりに鶴舞公園にチビたちと一緒にお花見に行ってきました。屋台がたくさんあって大道芸もやっており、花より団子のちびっこ達も大喜び。花粉症と戦いながらも連れて行ってよかったなーと思えた1日でした。

11年がんばりました!

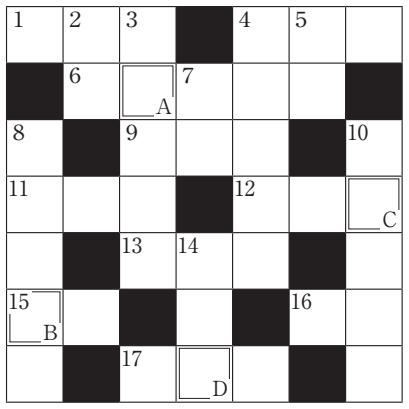
名南ふれあい病院
事務　西　志野

3月、子どもの小学校卒業式と、保育園の卒園式を迎えました。それぞれとても良いご縁に恵まれて、離れることが寂しいです。保育園では11年間送迎を頑張りました!

クロスワードパズル

クロスを解いてA～Dに入る文字を順にならべてできた言葉をこたえてね

答え　A　B　C　D



（出題　北メンタルクリニック事務　幅しのぶ）

【たてのカギ】
2 出るコレは打たれる
3 中国の黄酒の一種で3年以上寝かせた物
4 風見鶏の館、グラバー邸、エリスマン邸など
5 テッド、プーさん、ダッフィーと言えば
7 下⇩
8 天下分け目の合戦場
10 助六寿司には太巻きとコレ
14 どーはドーナツのど～♪、何の歌？

【よこのカギ】
1 やま、かんひ、かわづ、おおしま……
4 名前の由来はロシア語の魚卵。筋子をばらした物
6 渡辺謙と二宮和也が主演を務めた映画「・・・からの手紙」
9 予定した時間や期日に遅れること。交通機関が遅れた時にも使う
11 77歳
12 大工道具の一つ、これを使うと木材の表面が平らになります
13 素、きつね、釜揚げ、味噌煮込み
15 老眼で糸が通らないのよ～
16 小さいとリンリン、大きいとガランガランと鳴る？
17 ガスじゃなくコレで焼いた方がおいしい？

〈クロスワード当選者〉
3月号、正解は「おひなさま」。応募総数26通で正解は24人でした。次の方々が当選されました。

・松浦　朱美さん（千秋病院デイケア）
・大塚　帆乃香さん（尾張健友サービス）
・井上　美津子さん（協立総合病院）

〈応募要項〉
あて先は、〒456－0006　名古屋市熱田区沢下町9－3　愛知民医連宛。
①こたえ、②事業所名、③職種、④氏名、⑤近況や紙面の感想、を記入し、ハガキ・FAX・電子メールでご応募ください。QRコードも可。ペンネームや事業所名・職種不記載は抽選の対象外です。パート・臨時職員もご応募いただけます。

正解者の中から抽選で3人の方に図書カード進呈。

近況や感想が「読者のひろば」に掲載された方も当選者の半額分の図書カードを進呈します。4月号クロスワードパズルの応募締め切りは5月6日です。

QRコードをスマホなどで読むと応募フォームから投稿できます。

https://goo.gl/k5hZMy

理事会報告

☆高額療養費制度の負担上限額の引き上げが全国がん患者団体連合会はじめ世論の高まりで、8月実施を凍結させました。高額療養費制度は国民皆保険制度ができた後、自己負担分を払えない人へのセーフティネットとして誕生した仕組みです。凍結はいずれ解凍します。凍結ではなく白紙撤回に向けて行動しましょう。

☆マイナ保険証の利用率はいまだ4人に一人です。マイナンバーカードの健康保険証利用登録解除を希望する人が約6万人に達しています。受付窓口でのトラブルも引き続きあります。新たに「従来の保険証も引き続き利用できるようにしてください」請願署名に取り組みます。

☆医師国家試験の発表がありました。初期研修医の受け入れは県連全体で11名となりました。全日本民医連新入医師オリエンテーションが開催されます。また、4月25日に県連新入職員研修会を実施します。感染症に配慮して参集して開催します。

☆全日本民医連は4月から10月にかけて、「ケアの倫理」を深めるCafe学習運動を呼びかけました。民医連新聞号外として7回シリーズで発行がされます。職場での語らいを中心に進めます。

☆2024年度の経営は厳しいものがありました。2025年度予算討議を全職員によりすすめましょう。

【3月28日第9回理事会
県連事務局長　武田　修三】